

スミシなどの野草たち

4月5日東山植物園

日本各地の草原や道端でよく見られるという草花。小さく可憐。



←【タツナミソウ】

花の咲く様子を波立つあわに見立てて名づけられた。



【ムラサキサギゴケ】→

花の様子が鷺が飛んでいる様に似ていることから名づけられた。



←【アリアケスミレ】

白い中に紫の筋が入る様子を夜が明けても空に残る月に見立てて名づけられた。

【タチツボスミレ】→

茎が地面から立ち上がっているのが特徴のスミレ。



←【ニオイタチツボスミレ】

タチツボスミレより色が濃く、中心の白がはっきりしている。芳香があるという。